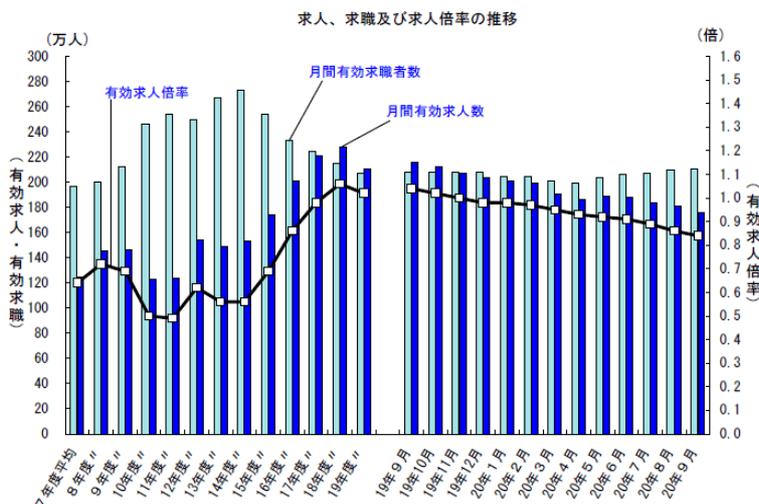


中間管理職のスキル診断サービス

景気後退局面を向かえ、企業の求人数は減少に転じ、今後も反転の兆しは見えません。

各企業の人事面では、総額人件費の削減、成果主義の行き詰まり、ミドルマネジメントの疲弊、若手社員のモチベーション低下、グローバル人材の不足といった停滞感・閉塞感が蔓延しています。

この状況を「個の能力」を高め、「適材適所」の実現を通じて、「組織の底力」をつける機会と捉え、適切な施策をうてるかが、会社の維持・今後のビジネスの発展を左右することになります。



出典：厚生労働省「一般職業紹介状況(平成20年9月分)について」

■ 人財の評価・育成における最近の課題

以下のような相談はここ数年、非常に多くなりました。同じような問題認識をお持ちではありませんか？

- 従業員のモラル、モチベーションが低下しており、組織に活気がなくなっている。
- 従業員のスキル、パフォーマンスに物足りなさを感じており、育成の必要性を感じている。
- 研修メニューが活用されていない、現場にやらされ感が蔓延している。
- 会社が期待する水準と従業員の実力にギャップがあると感じている。

■ 本サービス実施による効果 「課題の抽出と解決の方向性提示」

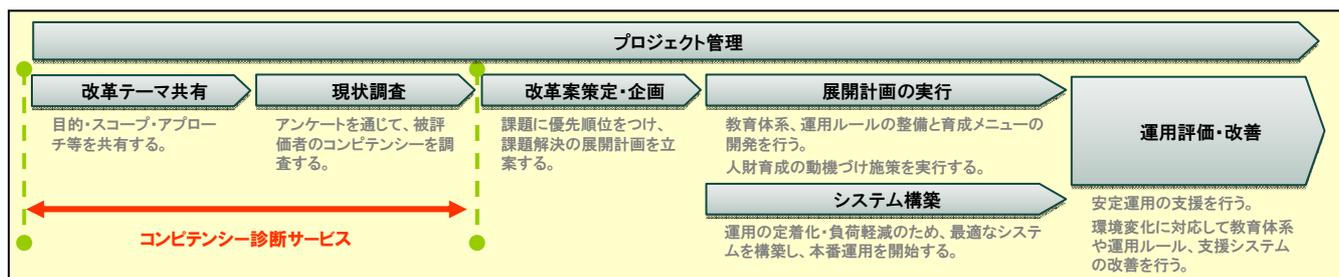
ジェクシードはお客様の問題に対して、解決すべき課題を整理し、最適なソリューションを設計し、ソリューションを形にして実際の運用で成果をあげるまで、トータルでサポートする戦略的なフレームワークを活用してお客様の目標達成を支援いたします。

経営層と現場の間に立つ中間管理職は、組織の課題解決に極めて重要な役割を担う存在であるといえます。今回、この重要な役割を担う中間管理職に焦点をあて、「スキル診断サービス」として切りだしました。本サービスのアウトプットをベースに、人材育成に関する制度面・意識面の双方から、「体系の整備」、「意識の醸成」、「仕組みの確立」等、優先順位に従った改善施策を企画・立案し、その実行をご支援します。

本サービスは、会社組織の土台を強固なものにすることに加え、そこ至る変革業務全体の品質維持とコスト削減をともに達成するための極めて重要なファーストステップといえます。

◇ 独自のサービス提供フレームワーク “Innovation Design Advisory Framework (IDAF)”

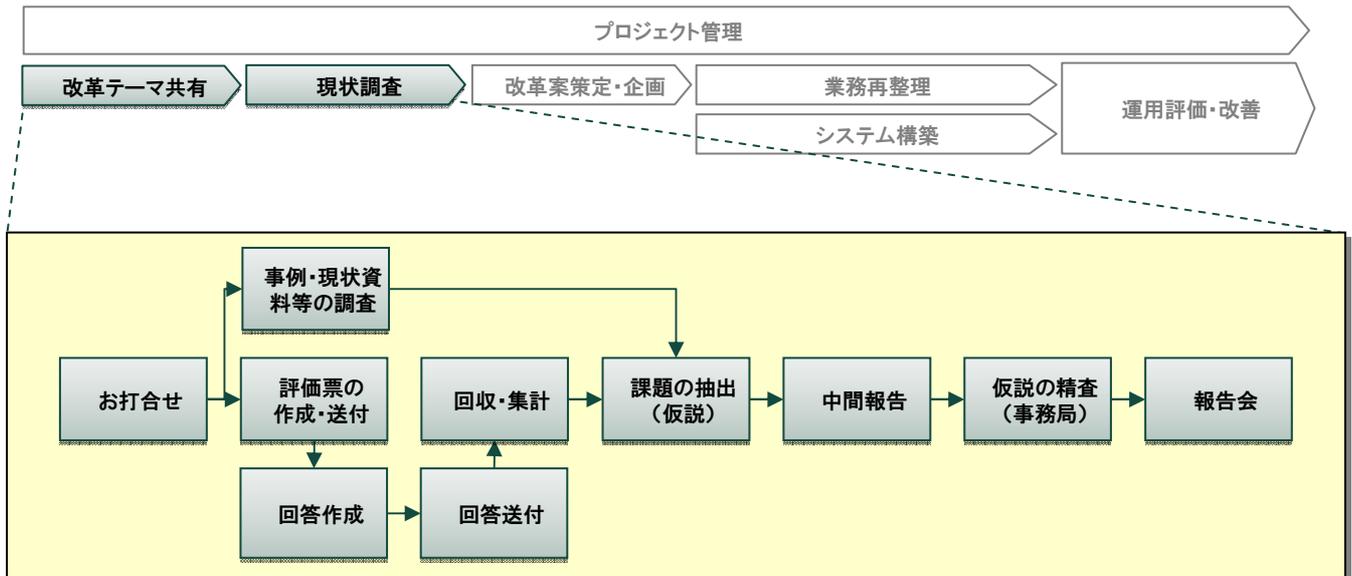
“IDAF”は、お客様の目標達成を導くソリューションを設計・展開・実行管理する、変革業務全体に渡る独自の戦略的フレームワークです。『標準化された独自の手法』を、貴社の状況に応じて『カスタマイズ適用』し、変革業務全体の品質維持とコスト削減をともに達成いたします。



標準メニューの内容 ※ お客様のご要望に応じてカスタマイズしたサービスをご提供いたします。お気軽にご相談下さい。

■ 作業概要

仕事を行っていく上で必要な、応用可能かつ育成可能な21の「対課題」「対人(自己含む)」スキルに焦点をあて、中間管理職を対象に多面評価を実施いたします。多面的に調査を行うことを通じて、本人評価と周り(上司・同僚・部下)の評価・認識のギャップを明らかにし、彼ら自身に「気づき」を与えます。また、ギャップに基づく課題を抽出、解決の方向性、優先順位づけを行います。



■ 作業期間・概算費用

以下の期間・費用は、対象者50名程度に診断サービス(標準)をご利用いただく際の目安とお考えください。
 作業期間:約2ヶ月間 概算費用:200万円程度

■ 標準成果物

調査結果の要約、詳細(評価・認識のギャップ)、改善検討項目一覧、次フェーズマスタスケジュール案

■ 本サービスの活用事例(抜粋)

■ 情報処理サービス業

必要スキルにマッチした育成計画の策定

ITサービスの業務遂行に必要なスキルをテクニカルスキルに留まらずに抽出し、スキルインベントリーを実施して習得状況を把握する仕組みを構築した。不足しているスキルを習得するための研修体系も整備し、計画に基づいた人材育成の仕組みが確立された。

■ 各種商品卸

IT組織・人材戦略立案支援

IT部門のミッションと業務、およびCIOオフィス、グループIT部門における業務の役割分担を定義。コア業務/ノンコア業務を切り分けた上で必要な人材像を明確化し、人材補完や育成、外部委託を実施してコア業務への人材の集中化を実現した。